

※生活支援コーディネーターは、地域の皆さんとともに地域での支え合いの仕組みづくりに取り組んでいます。

令和7年9月10日に
みさとの丘学園（6年生）で

認知症キッズサポーター 養成講座(認知症ってなーんだ?)

認知症サポーターとは？

認知症に対する理解を持ち、認知症の人やその家族を優しく見守る応援者です。



昨年度、津市民生委員制度創設100周年記念事業として開催されました「民生委員・児童委員出前講座」のステップアップとして、津中部西地域包括支援センター職員を講師に招き「認知症キッズサポーター養成講座 認知症ってなーんだ？」が開催されました。



◎認知症とは・・・

さまざまな原因で脳細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったりするために起こる「**脳の病気**」です。できことを忘れてしまったり、できていたことができなくなってしまうことで、今までのような生活が続けられなくなることがあります。

【6年生の皆さんから】

- ・家族や周りの人が認知症になったら、“優しく接すること”を心がけます。
- ・困っている認知症の方がいたら、“優しく声をかけてみるよ”など多くの声が聞かれました。



【講師から】

- ・皆さんも今日から認知症キッズサポーターとして、困っている方が見えたら、優しく声をかけてほしいです。

【認知症の人への対応“3つのPoint”】

- 1 おどろかせない
- 2 いそがさない
- 3 心を傷つけない

あなたの気づきや見守りが大切

※さりげなく自然に接する、それが一番の支援です。
※むずかしいと思ったら、先生や近くの人に頼みましょう。



▲認知症を応援する目印として「オレンジリング」を講師からプレゼント！



▲美里民児協より「ミンジー入りストラップ」プレゼント！

【生活支援コーディネーターから】

2025年に「団塊の世代」が75歳以上の後期高齢者となりました。高齢者の5人に1人が認知症になると言われ、誰もがかかる身近な病気として社会問題ともなっています。

この講座を受講した生徒には、地域で認知症高齢者を見かけたら「**どんな行動が良いのか？**」「**自分には何ができるのか？**」ということを考えるきっかけになればと思います。

美里地域では、子供から大人まで誰もが住みやすい、助け合いのできる優しい地域を目指し、各関係団体と「情報交換会」を行っています。少しでも**“認知症”**を知っていただければ幸いです。お気軽にお問い合わせください。